

細則様式第 4 号

論文審査及び最終試験結果報告書			
氏 名	福田 敦美		
入学年度	平成 25 年度	学籍番号	13GG603
領 域	健康科学支援領域	分 野	老年保健学分野
審 査 委 員	主 査	尾田 敦	
	副 査	若山 佐一	
	副 査	中村 敏也	
	副 査	對馬 栄輝	

論文題目：高齢者の姿勢改善に対する介入研究と姿勢アライメントへの関連因子について

審査結果要旨：

本論文は高齢者の脊柱湾曲変形に代表される姿勢の改善を目的として、短時間で行える有効なエクササイズを再考することを主目標としたものであり、①背部筋強化の効果の検討、②運動継続に関与する諸因子がどのように運動行動に影響しているかの検討、③背部筋強化と体幹可動域が姿勢アライメントどのように関連しているかの確認、という3段階で実施されている。研究は段階的・系統的に遂行され、学位審査論文においても過不足なく記述されていた。

地域在住高齢者に対する姿勢改善を目的とした6ヵ月間の背部筋強化を行うエクササイズでは、効果は明確にならなかったが、エクササイズ内容によって姿勢アライメントへの効果が異なる可能性、運動行動にはソーシャルサポートを介してセルフエフィカシーが影響する可能性、姿勢アライメントに対して体幹可動域の関連はみられたが、姿勢特性によっては背部筋力とは関連しない可能性などが示された。

学位論文および学位審査会での質疑応答を通して、本研究の意義、結果に対して的確に解釈および回答されており、国内外の先行研究をよく理解し、自らの研究の位置づけを踏まえてわかりやすく示していた。本研究の遂行にあたり、計画・実施・データ収集・解析等の過程において申請者は高い研究遂行能力を要するとともに高い倫理観を身につけていることが、学位審査論文及び学位審査会において伺われた。したがって、申請された学位審査論文は博士の学位に値すると判断した。

最終試験 令和 2 年 1 月 24 日

試験の結果は 合 格 ・ 不 合 格 と判定する。